

ごあいさつ

今月より村上に変わり、委員長を務めさせていただきます。
初回にもかかわらず出張と重なり出席できず、大変申し訳ございません。
また社内研修の為、川西に変わり弊社山岸が参加させて頂いておりますので、
併せてご了承頂きますと幸いです。

11月に入り、一気に季節が進んだと感じております。
急な冷え込みで体調を崩されている方が多い気がします。
私も先週、インフルエンザの予防接種を受けてきました。今年は例年以上に感染が拡大しているようです。
コロナも収束したわけではなく、同時流行となっておりますので、くれぐれもお気をつけるようお願い致します。
色々のご予定もあるかと思いますが、可能であれば積極的に予防接種を受け、感染拡大を防いで頂ければと
思っております。

松村



■時間外労働状況					10月
摘 要		当月	前年同月	差異	単位
対象者（パート除く）		69	75	- 6	人
平均労働日数		20.1	19.1	+ 1.0	日
平均休日労働日数		0.0	0.0	+ 0.0	日
平均労働時間(年休除く)		143.1	140.0	+ 3.1	時間
残業時間	平均	9.6	8.3	+ 1.2	時間
	最高	49.1	54.8	- 5.7	時間
休日労働時間	平均	0.2	0.2	+ 0.0	時間
	最高	8.0	14.0	- 6.0	時間
残業 + 休日労働	平均	9.7	8.5	+ 1.2	時間
	最高	53.1	55.8	- 2.7	時間
	80時間超	0	0	+ 0	人
※残業及び休日労働はいずれも所定労働時間に対する値					

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

第 44 週(10 月 30 日～11 月 5 日)のトピックス 流行注意報発出中

- ・ 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告数は、7,086 人、定点当たり 16.99 人
(昨年同時期 定点当たり 0.08 人)
- ・ インフルエンザ様疾患による集団発生事例の報告数は、366 件
- ・ 全国における定点医療機関からの患者報告数は、104,359 人、定点当たり 21.13 人

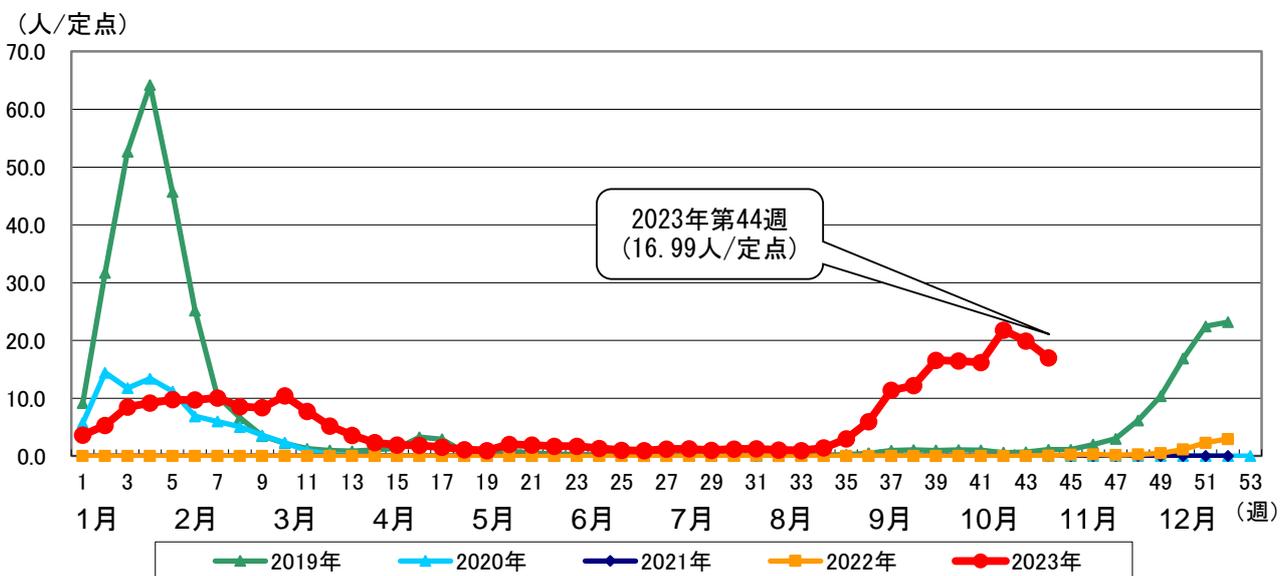


図1. 東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移*

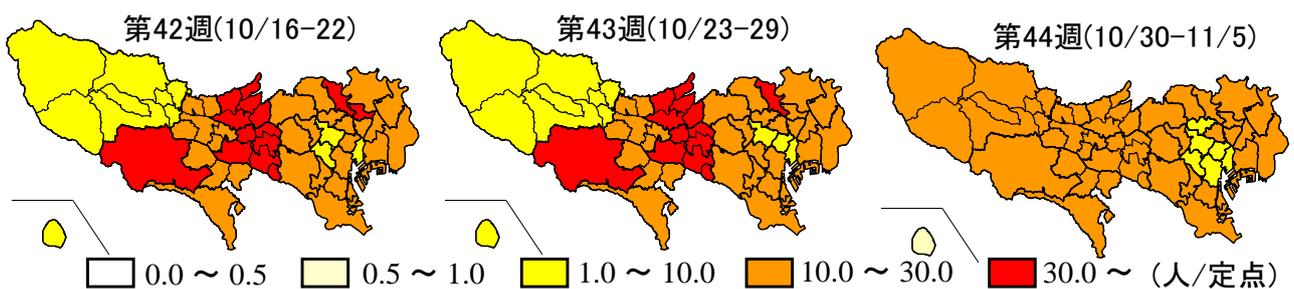


図2. 都内の保健所別定点当たり患者報告数(第42週～第44週)

1. 定点医療機関からの患者報告数

【東京都】 インフルエンザ定点医療機関*からの患者報告数は、7,086 人、定点当たり 16.99 人(前週:19.91 人/定点)でした(図 1)。

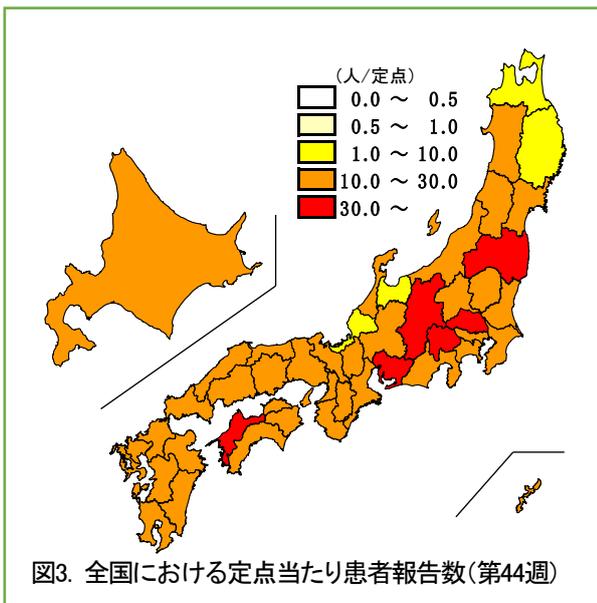
定点当たり患者報告数が 30.00 人**を上回った保健所管内はありませんでしたが、八王子市(29.61 人/定点)、多摩府中(25.70 人

/定点)、多摩小平(25.36 人/定点)、北区(23.82 人/定点)、荒川区(23.29 人/定点)、中野区(21.60 人/定点)、江戸川(19.53 人/定点)、練馬区(19.38 人/定点)、葛飾区(19.08 人/定点)、文京(18.43 人/定点)、多摩立川(18.19 人/定点)、町田市(17.62 人/定点)、板

橋区(17.50人/定点)、足立(16.95人/定点)、大田区(15.10人/定点)、杉並(14.53人/定点)、南多摩(14.43人/定点)、目黒区(13.50人/定点)、西多摩(12.14人/定点)、世田谷(11.68人/定点)、台東(11.57人/定点)、江東区(11.36人/定点)、品川区(10.92人/定点)及び墨田区(10.63人/定点)の24保健所管内で定点当たり患者報告数が10.00人[※]を上回りました(図2)。

【全国】患者報告数は、104,359人、定点当たりの患者報告数は21.13人でした(前週:19.68人/定点)。

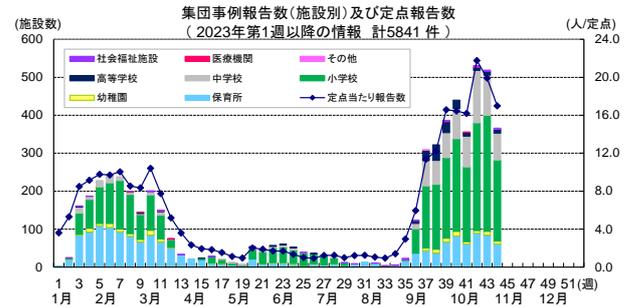
定点当たりの患者報告数は、山梨県(39.63人/定点)、埼玉県(34.84人/定点)、愛知県(34.62人/定点)、長野県(32.89人/定点)、福島県(32.66人/定点)、愛媛県(30.62人/定点)の6県で30.00人を上回りました。その他、千葉県(28.78人/定点)、佐賀県(28.59人/定点)、鳥取県(28.38人/定点)、高知県(27.80人/定点)、大分県(25.74人/定点)等、東京都を含めた37都道府県(30.00人を上回った6県を加えると計43都道府県)で、定点当たりの患者報告数が10.00人を上回りました(図3)。



2. インフルエンザ様疾患の集団発生報告数

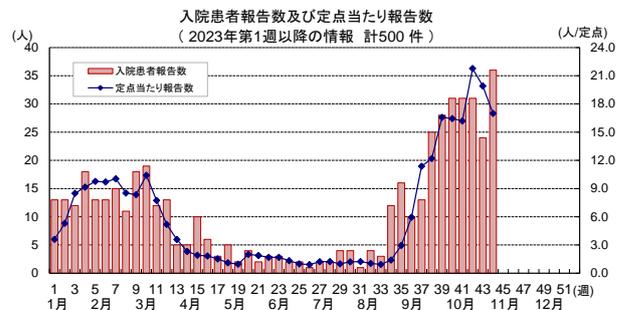
集団発生報告は、366件(小学校213件、

中学校71件、保育所60件、高等学校10件、幼稚園9件、社会福祉施設3件)ありました(図4)。



3. インフルエンザによる入院患者報告数

基幹定点医療機関^{**}からインフルエンザによる入院報告は、36件ありました(図5)。



4. ウイルス検出状況

【東京都】2023年第36週から第42週までに病原体定点医療機関^{***}から92検体が搬入され、AH3亜型が46件、AH1pdm09が29件、B型が2件検出されています(表1)。

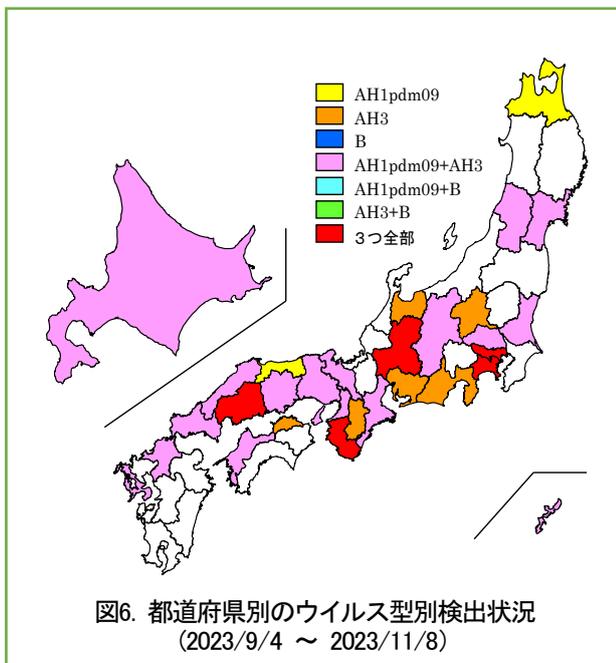
表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

搬入週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス				
			AH1pdm09	AH3	B Victoria系統	B Yamagata系統	B系統不明
第36週(9/4-10)	13	10	4	6			
第37週(9/11-17)	10	8	4	4			
第38週(9/18-24)	11	9	3	5	1		
第39週(9/25-10/1)	16	15	5	9	1		
第40週(10/2-8)	12	11	4	7			
第41週(10/9-15)	10	9	3	6			
第42週(10/16-22)	20	15	6	9			
第43週(10/23-29)	検査中						
第44週(10/30-11/5)	検査中						
合計	92	77	29	46	2	0	0

インフルエンザ情報発行時点で検査結果が判明したものを掲載

【全国】国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、28都道府

県(北海道、宮城県、山形県、茨城県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、富山県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、福岡県、長崎県、沖縄県)からAH3亜型、24都道府県(北海道、青森県、宮城県、山形県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県、長野県、岐阜県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、愛媛県、福岡県、長崎県、沖縄県)からAH1pdm09、5都県(東京都、神奈川県、岐阜県、和歌山県、広島県)からB型の検出が報告されています(図6)。



* **インフルエンザ定点医療機関** インフルエンザ患者数を把握するために指定された、小児科および内科の医療機関 419か所(全国約 5,000か所)

** **基幹定点医療機関** インフルエンザ入院患者数を把握するために指定された、主に内科の医療機関 25か所(全国約 500か所)

*** **病原体定点医療機関** ウイルスの発生状況を把握するために指定された、インフルエンザ定点医療機関 41か所(全国約 500か所)

※ 患者発生が昨シーズンから継続して発生しているため、例年は第36週からの流行曲線を使用していましたが、今シーズンにおいては、当分の間、第1週からの流行曲線を使用して、情報提供を行っています。

※※インフルエンザの定点当たり患者報告数が、10.00人/週を上回った場合、注意報が発出され、30.00人/週を上回った場合、警報が発出されます。いずれの場合も、保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた時には、広域的に流行が発生・継続しているとして、注意報・警報が発出されます。



◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター

企画調整部健康危機管理情報課

〒169-0073

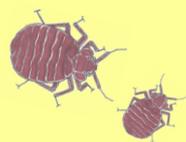
東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S1153803@section.metro.tokyo.jp

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

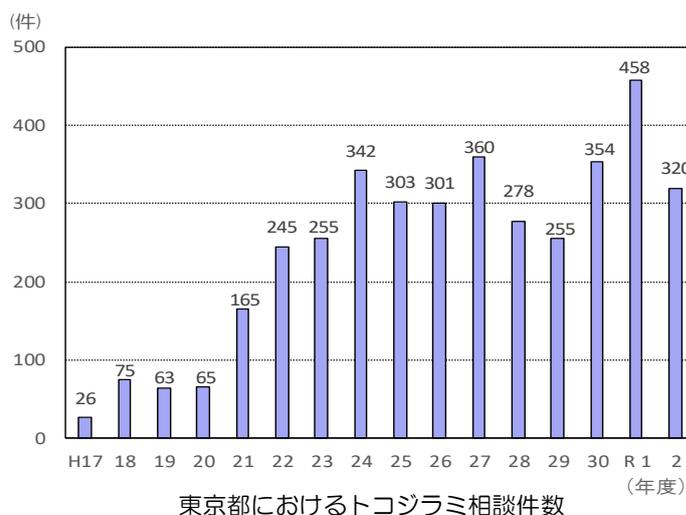


知っていますか？ トコジラミ



トコジラミは、戦後しばらくよく見られる害虫でしたが、生活環境の改善や殺虫剤の使用により、被害は減少しました。しかし、近年、都内の保健所などに寄せられるトコジラミに関する相談が増えています。

家庭等で発生する要因は、荷物等と共に外から持ち込まれることと考えられています。トコジラミによる被害に遭わないために、まずは、トコジラミのことを知りましょう。



トコジラミとは？



大きさ： 5mm～8mm（成虫）
 体型： 丸く、扁平でとても薄い
 色： 褐色



- * 夜、部屋の隙間等から出てきて活動します。
- * 人や動物の血液だけをエサとして生活し、吸血しなくても長期間生きることができます。
- * 成虫は、3～4か月生きています。

トコジラミによる害

刺されることによるかゆみ

- * 夜間吸血されることが多く、寝ている人の手や足、首など露出している部分から吸血します。
- * 非常に強いかゆみが生じます。初めて刺された人は症状がでないこともあります。また長期間にわたり刺されたことで、かゆみを感じなくなることもあります。（個人差があります。）
- * 強いかゆみにより、寝不足などで精神的に影響を受けることもあります。

家で増殖した場合の駆除が困難

- * メスは、1日に5～6個（生涯では200～500個）の卵を産みます。
- * 卵は、約1週間（5～11日）でふ化して幼虫になり、1～2か月で成虫になります。
- * トコジラミが家に持ち込まれると、比較的短期間で数が増え、家の中に広がります。家中に広がると駆除が困難になります。



トコジラミの生息場所

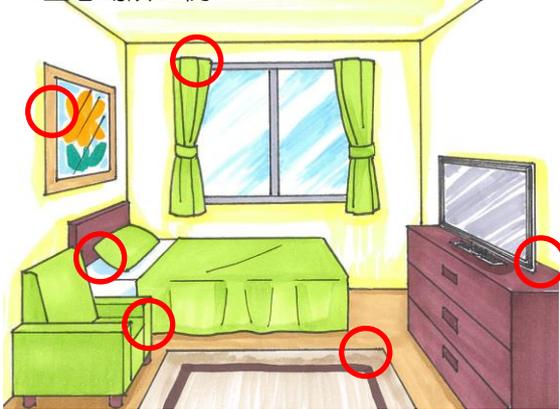
人が生活している場所に生息します。

- * 夜間に吸血するため、寝室、布団、ベッドの周りに多く生息します。
- * 体が扁平であるため、狭い場所にもぐることができます。
- * 暗くて、温かい場所を好みます。
- * 生息している場所には、血糞けつぶんという黒いしみが多く見られます。

引戸の溝に付着した血糞けつぶん



<生息場所の例>



ベッドの隙間や裏、マットレスの中、カーテンの折り目の間、カーペットの下、ソファの隙間、家具と壁の間、額縁の裏 など



布団やまくらの中、畳の縁、床・柱・壁・天井の隙間、押入れ、電化製品の裏や内部、障子、掛け軸の裏 など

トコジラミを見つけたときの対策

生息しやすい場所に血糞があったり、トコジラミを見つけた場合は、被害の拡大を防ぐため早急に駆除する必要があります。

一般的な殺虫剤は、トコジラミに効果がない場合もあります。また、くん煙殺虫剤を使用することで、かえって生息範囲が広がってしまうこともあります。家庭での対策だけで駆除することは困難です。

虫刺されによるかゆみがあり、血糞やトコジラミの特徴を持った虫が見つかった場合には、トコジラミが生息している可能性があります。早急に専門業者に見てもらい駆除を行いましょう。

相談窓口

トコジラミについてのお問合せは、お住まいの地区を管轄する保健所まで。

問合せ先